

2026^{ねん}年度

ぶんか もりじんけんけいはつてん 文化の森人権啓発展

しきじかつどう ちゅうしん
—識字活動を中心として—

ねん こくさいしきじねん ひ つづ ねん ねんかん こくれん
1990年の国際識字年に引き続き、2003年から2012年までの10年間の「国連
しきじ ねん こくれんそうかい けつぎ こくさいしきじねん けいき
識字の10年」として、国連総会において決議されました。国際識字年を契機
しきじもんだい にほん せんしんこく そんざい さいかくにん たん
として、識字問題は日本のような先進国でも存在することが再確認され、単
かいはつとじょうこく もんだい あき
に開発途上国だけの問題でないことが明らかとなりました。

ぶらくさべつ うば もじ と もど げんざい けんないかくち しきじ
部落差別などで奪われた文字を取り戻すために、現在、県内各地で識字
がっきゅう かいせつ ねっしん とりくみ てんかい しきじがっきゅう いとな
学級が開設され、熱心な取組が展開されています。識字学級の営みは、
もじ まな ことば と もど にんげん ほこ い かた しめ
文字を学び言葉を取り戻すことにとどまらず、人間の誇りある生き方を示す
じんけんもんだいかいけつ けいはつ てん おお やくわり は
ものであり、人権問題解決のための啓発という点でも大きな役割を果たし
ています。

わたし いとな しんし まな さまざま じんけんもんだい かいけつ つと
私たちは、この営みに真摯に学び、様々な人権問題の解決に努めなけれ
ばなりません。

せいき じんけん せいき ぶんか もり ひと
21世紀は人権の世紀といわれていますが、文化の森ではすべての人の
じんけん そんちょう しゃかい じつげん む しきじがっきゅう まな かたがた おも こ
人権が尊重される社会の実現に向け、識字学級で学ぶ方々の思いを込め
さくひん てんじ
た作品を展示いたします。

てんじ しきじがっきゅうせい さくひん じんけんけいはつ しきじ じんけんけいはつとしょ
●展示 識字学級生の作品、人権啓発パネル、識字・人権啓発図書
とき ねん がつ にち すい がつ にち げつ しゅく
2026年11月18日(水)から11月23日(月・祝)まで
ごぜん じ ぶん ごご じ
午前9時30分から午後5時まで
ばしよ とくしまけんぶんか もりそうごうこうえん きんだいびじゅつかん
場所 徳島県文化の森総合公園 近代美術館ギャラリー

にゅうじょう むりょう
入場無料

しゅさい とくしまけんりつとしょかん はくぶつかん きんだいびじゅつかん もんじょかん せいきかん
●主催 徳島県立図書館・博物館・近代美術館・文書館・21世紀館
とりいりゅうぞうきねんはくぶつかん とくしまけんきょういくいんかいじんけんきょういくか
鳥居龍蔵記念博物館・徳島県教育委員会人権教育課